

**常磐公園，神楽岡公園，春光台公園，忠和公園に関する
サウンディング型市場調査 実施結果の概要**

1 調査の目的

本市では，民間の資金やアイデアを活用することで，公園のストック効果を高めながら，公園施設の整備や更新を持続的に進める手法について検討を進めており，本市の公園における魅力や利便性の向上を図ることができる，実現性の高い事業アイデアやノウハウを民間事業者から提案いただくとともに，事業の実現に向けた課題等を把握することを目的として，サウンディング型市場調査を実施しました。

2 対象公園

総合公園（常磐公園，神楽岡公園，春光台公園，忠和公園）

3 調査の経過

(1) 実施要領の公表 令和2年6月29日（月）から公表

(2) 現地見学会 令和2年7月21日（火）開催

- ・ 参加団体数 4者
- ・ 参加者の地域区分 全て市内業者
- ・ 参加者の業種区分 飲食，建設，企画，事業開発

(3) 説明会 令和2年7月22日（水）開催

- ・ 参加団体数 5者
- ・ 参加者の地域区分 全て市内業者
- ・ 参加者の業種区分 飲食，建設，企画，事業開発，造園

(4) 質問受付 令和2年6月29日（月）から令和2年8月13日（木）まで受付

- ・ 質問回答数 2問

(5) 対話の実施 令和2年8月24日（月）から令和2年9月4日（金）の期間内

- ・ 参加団体数 6者
- ・ 提案件数 10件

(6) 追加対話の実施 令和2年9月10日（木） 1者2件について追加対話

《提案内訳》

| 団体名 | 業種区分 | 地域区分 | 事業対象公園 | | | |
|-----|-------------|--------|--------|-------|-------|------|
| | | | 常磐公園 | 神楽岡公園 | 春光台公園 | 忠和公園 |
| A社 | 建設 | 市内 | | ○ | | ○ |
| B社 | 飲食 | 市内 | ○ | | | |
| C社 | まちづくり 団体 | 市内 | ○ | ○ | | |
| D社 | 飲食 | 市外(道外) | | ○ | | |
| E社 | 造園 | 市内 | ○ | | ○ | |
| F社 | 企画 | 市内 | ○ | | ○ | |
| 計 | | | 4件 | 3件 | 2件 | 1件 |

4 提案概要

(1) 主な事業内容

| | |
|-------|---|
| 常磐公園 | <ul style="list-style-type: none">○ 飲食店の設置（カフェ、レストラン等）○ 売店の設置○ ワークスペースの整備○ 文化体験ゾーンの整備○ ドッグランの設置○ 各種イベント等の開催による賑わいの創出 |
| 神楽岡公園 | <ul style="list-style-type: none">○ 飲食店の設置（カフェ）○ 健康増進施設の設置○ 運動施設の整備 |
| 春光台公園 | <ul style="list-style-type: none">○ キャンプ場の整備 |
| 忠和公園 | <ul style="list-style-type: none">○ 飲食店の設置（カフェ）○ 運動施設の整備 |

(2) 事業期間

事業期間は長期的な（最大20年間）事業運営を希望する提案もありましたが、その一方で、まずは3～5年で試行的に実施し、反応を見ながら段階的に事業を展開したいという意見もありました。

(3) 建築面積

建築する建物の面積は最小で約40㎡、最大で約360㎡とする提案がありました。

(4) その他

事業者目線で見ると、今回の調査で対象とした公園以外にも魅力のある公園があるとの意見がありました。また、今回いただいた提案の中には、常磐公園にある「旧川のおもしろ館」を活用する内容の提案がありましたが、建物が老朽化しているため、補修については市の方で行うことや、建物全体を活用するには規模が大きすぎるため、市から建物の一部を賃借する形が望ましいとの意見がありました。

5 提案者の課題認識

(1) 採算性

今回調査した4つの総合公園では、採算性の観点から民間事業者だけの施設整備や管理運営は難しいとの意見が多くありました。また、採算を得るためには更なる来園者を増やすなどの工夫が必要であるという意見もいただきました。

(2) 自然環境への配慮

現在の緑地をそのまま活かした内容の提案もありましたが、その一方で、新たに建物や駐車場を設置するには樹木の伐採が必要であるとの意見もありました。

6 今後の予定について

今回の調査では、これまでの公園にはない施設の設置や、イベントと組み合わせた取組など、柔軟な発想に基づく様々な提案をいただきました。その一方で、事業化に向けて検討しなければならない課題認識についても伺うことができました。

今後は調査結果を踏まえ、事業を行う上での課題について検討するとともに、事業を実施する提案者の「主体性」や、公園利用者のニーズに合っているかなどの「必要性」、公園施設として妥当性が認められるかといった「適合性」などの観点から、事業化に対する基本的な考え方について整理してまいります。